



廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

平成29年
11月24日
第5号

2学期も残り1ヶ月となりました。まとめの時期を向かえ、忙しくされていることと思います。急な寒さで体調を崩されないようにお気を付けください。そして、次の学期につながるよいまとめができるようお願いいたします。



歌声をひとつに ～第7回 廿日市市中学校「夢・つながり」合唱祭～

11月15日(水) さくらびあ大ホールで中学校音楽部会と市教委が主催した「夢・つながり」合唱祭が開催されました。

全中学校から1団体が参加しました。宮島中学校の尾高諒さん(左下写真)のスムーズな司会進行のもと、心をひとつにした歌声、美しいハーモニーが響き合う素晴らしい合唱祭となりました。

合唱祭に参加した生徒からは、「保護者に成長した姿を見せることができた。」「いつも以上にみんなと1つになれた。」など、嬉しい感想が寄せられました。



廿日市中学校 「翼をください」



野坂中学校 「響きあう命」



イラスト(七尾中学校:前田絢子さん) ポスター(七尾中学校:遠藤実聖さん)

「廿日市おすすめの本201冊」が完成しました!

先生や子どもたちに推薦していただいた本をまとめた冊子が完成しました。

これは、廿日市市子どもの読書活動推進計画(第二次)に位置付けられている「本を読むきっかけの提供」の取組の一つです。

皆さんからいただいた多くの本から「廿日市」にちなんで201冊(201=はつかいち)選びました。各学級、図書室用に配付していますので、ぜひご活用ください。



図書委員や子ども司書養成講座を受講している小学生が推薦しているところがポイントです。

不読率0を目指しましょう!

※不読率…1ヶ月に1冊も本の読まない児童生徒の割合

11月1日は「古典の日」

平成24年に「古典の日に関する法律」が施行され、「ひろしま教育の日」と同日の11月1日が「古典の日」と定められています。

阿品台西小学校では、廊下や図書室に古典の本を紹介するコーナーを設けました。また、古典の本に関する内容をクイズにして紹介しました。

児童生徒から俳句を募集したり、昔話の読み聞かせをしたりする園・学校がありました。



←古典の本を紹介するコーナー
(阿品台西小学校)

生徒指導 スキルアップ! ②

「かかわること③」

前回、前々回と、「何はなくとも、まずかかわる!!」ということで、あいさつを通してかかわることの大切さ、かかわり方の種類について述べました。

しかし、「かかわる」と言っても、一方的にかかわるのではなく、「子供の心に伝わってこそ意味がある」ことは言うまでもありません。

そこで今回は、日常的に多くの子どもにかかわることができる「かかわり方のコツ」をお伝えします。

- ①O(よい)と×(悪い)をハッキリ
- ②本気・真剣
- ③タイミングをはずさない
- ④回数を多く
- ⑤短い言葉で(1回7秒程度)
- ⑥O(褒める)×(叱る)



スキルアップ ポイント!



これを意識して子どもにかかわっていくと、最初のうちは変化が見られなくても、次第に子どもの反応が変わってきます。このようなかかわりの積み重ねが、信頼関係を築く土台となるのです。

また、厳しい指導を行う際は、「×(指導)→O(展望)」と最後にOで終わることも重要です。脳科学においては、最後に言ったことや行ったことが記憶に残りやすいと言われています。以上のコツをぜひお試しください。

廿進!!『学びの変革』③

「学びの変革」では、一時間一時間の授業を「主体的な学び」に改善していくと同時に、単元や章などの数時間のまとまり(ユニット)を、どのように構造化していくかが大切だと言われています。

下にあるのは、これまでの単元開発から見えてきた課題を踏まえ、「課題発見・解決学習」の開発単元の質の向上に向けて県から示された視点です。

- 目標に迫る問いを、児童生徒から引き出せているか。
- 課題解決の見通しを持たせているか。
- 課題解決に向かう必然性のある学習活動となっているか。
- 深い学びを実現するための指導の工夫が行われているか。
- 子どもが深い学びを実現していく姿を具体的にイメージできているか。
- 見方・考え方の高まりや学習の仕方を振り返ったり、それらを活用できる場面を考えたりする「振り返り」の場が設定できているか。

大切なのは、機械的に毎時間行うのではなく、単元のどの場面で行うことが適切かを考えて、場を設定していくことです。

この6つの視点を、例えば「課題発見・解決学習」の単元を構想する段階や、授業研究において活用してください。



VOICE 2017 児童・生徒の意見発表会

11月5日(日)、さくらびあ小ホールで、VOICE 2017が行われました。今回の発表課題は「私のふるさと」です。

小学生18名、中学生11名がそれぞれの思いを表現しました。自分が住んでいる地域だけでなく、自分を成長させてくれたものが「ふるさと」とらえている児童生徒が多いようでした。

ふるさと学習の充実についても期待しています。

教育委員会の仕事 ③ ~学校教育課編~

大野学校給食センター
イメージ図(食育推進G)

学校教育課には、教育指導グループ、生徒指導グループ、学事グループ、食育推進グループの4つのグループがあります。

〈教育指導グループ〉 連絡先: 30-9207

学校教育の基本方針、教職員の研修、教育課程、学習指導、特別支援教育、学校に関する相談など

〈生徒指導グループ〉 連絡先: 30-9223

生徒指導、いじめ防止対策推進、各学校のいじめ対策などに関する指導・相談など

〈学事グループ〉 連絡先: 30-9202

通学区域、就学・入学・転退学などの手続き、就学援助、学校保健、就学時健康診断など

〈食育推進グループ〉 連絡先: 30-9215

食育の推進、学校給食など

学校教育課は市教委で一番職員が多い課です。



いじめ防止対策委員会(生徒指導G)



教職員の研修(教育指導G)



就学時健康診(学事G)